

漁海況情報第4報 (2018年7月13日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

暖水の波及が見られ、142° E～142° 30' E 付近が特に高水温となっています。

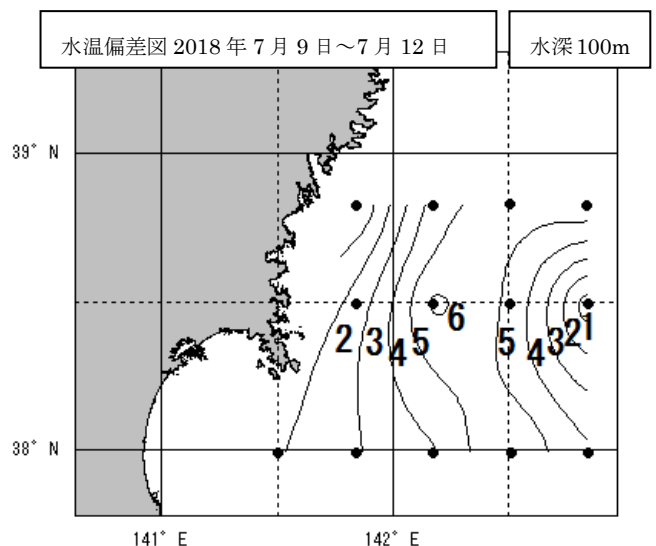
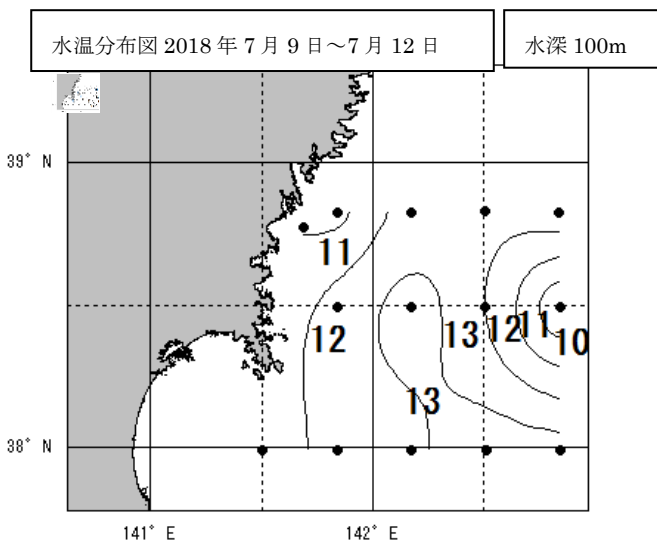
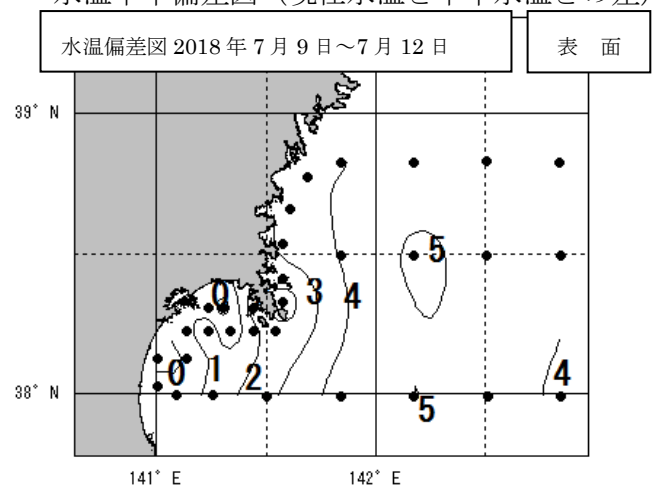
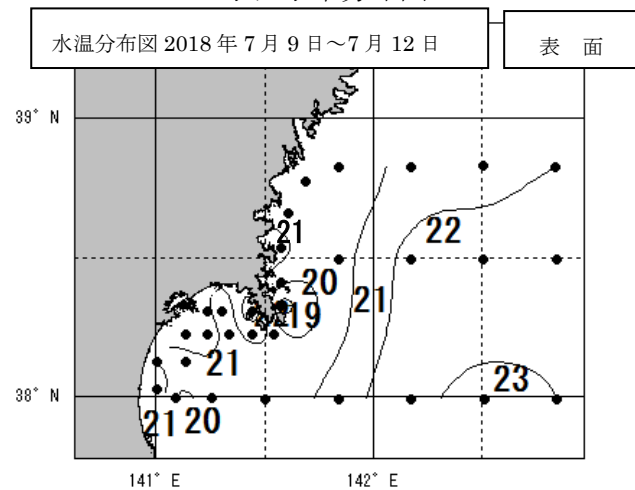
宮城県沿岸の表面水温は18～23℃台、100m深水温は8～13℃台となっています。沿岸域の水温は北上暖水の強い波及により、特に142° E～142° 30' Eの海域で高水温傾向が顕著となっており、表層で最大5℃、水深100mで最大6℃、平年より高い値を示しています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図] [P2.水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮は厚岸付近で停滞していますが、やや冷たい混合水が沿岸に分布し、宮城～房総の表面水温は17～19℃台となっています。 [P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

7月上旬の定地水温は17～24℃台で平年より0.4～2.0℃高く、歌津と田代島で高め、気仙沼、江島、佐須浜、桂島でやや高めとなっています。 [P3.定地海洋観測図]。海底直上水温は7～16℃台で、昨年より高めです。 [P3.海底直上水温図]。

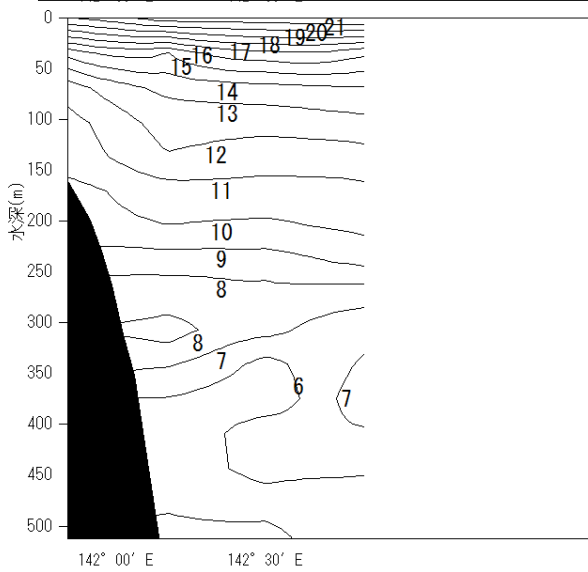
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

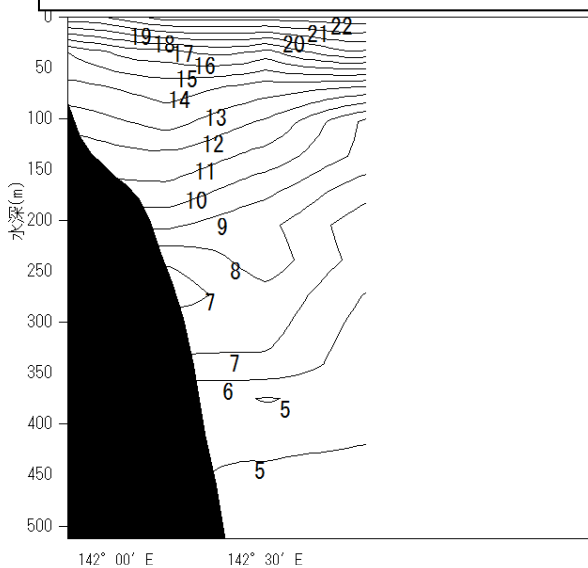


・水温鉛直断面図

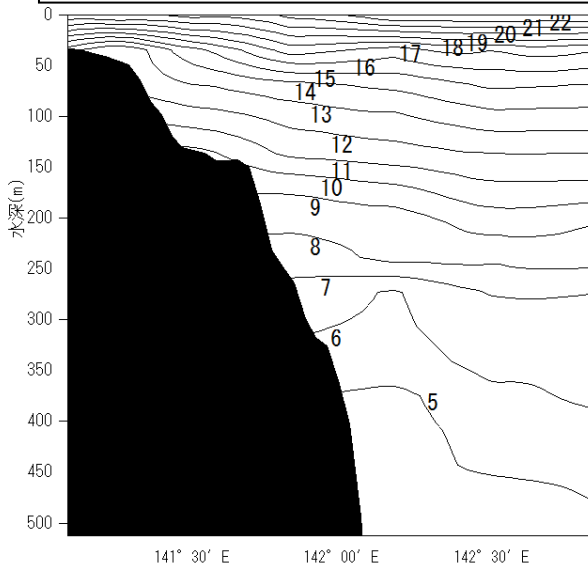
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

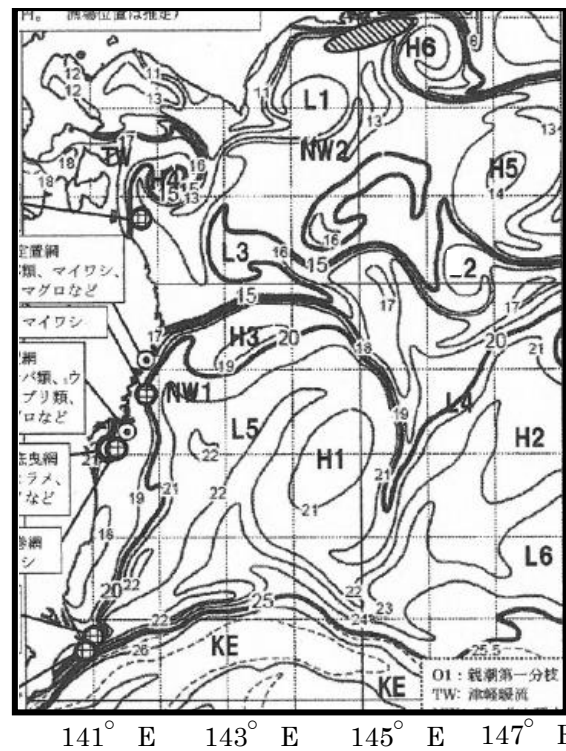


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2018年7月9日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

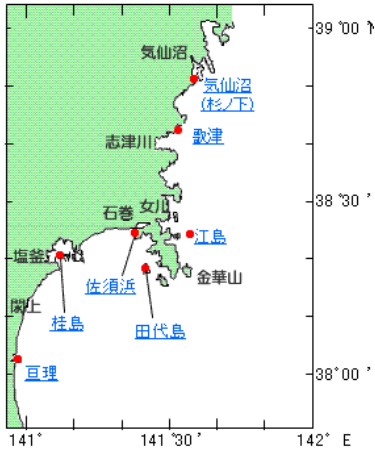
【海況】 (7月9日表面水温)

- ・津軽暖流が強まり下北～青森沿岸 15～16°C台。
- ・親潮第一分枝は厚岸付近で停滞。
- ・やや冷たい混合水が沿岸に分布し、岩手は 14°C台、宮城～房総は 17～19°C台を維持。
- ・黒潮は南房総に接近した後、房総沖を東進。
- ・20～22°C台の暖水が 142～146° E を大槌沖まで北上。さらに 13～15°C台が 143～148° E を厚岸南 15海里まで北上、釧路～花咲付近で潮境を形成。

【漁況】 (7月6～9日)

- ・まき網：犬吠埼や三陸沖でマイワシを漁獲。7/9 に八戸沖で操業開始、マイワシ中羽を水揚げ。
- ・定置網：金華山周辺はマイワシ主体、20g 前後の小羽が 3 割程度混じる。大船渡はブリ類主体。
- ・竿釣：宮城～茨城沖 40 海里付近でカツオ好調、平均 12t/隻・日を漁獲。気仙沼主体に水揚げ。
- ・カツオ・マグロまき網：宮城～茨城沖 143° E 付近でカツオとマグロ漁獲。カツオは価格低迷。
- ・スルメイカ：時化休漁。

・定地海洋観測



	7月上旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	18.7	やや高め	1.3	-0.9
歌津	18.7	高め	2.0	-0.8
江島	17.8	やや高め	0.7	-1.0
田代島	21.4	高め	1.6	-0.4
佐須浜	21.9	やや高め	1.2	0.4
桂島	24.5	やや高め	1.3	0.8
巨理	22.2	平年並み	0.4	-

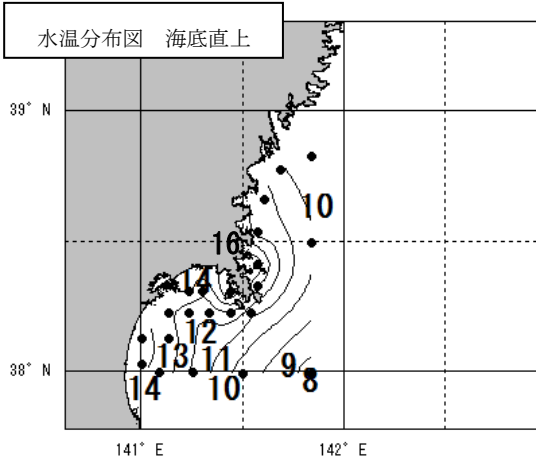
※平年値 岩井崎(過去30年)
江島(過去30年)
佐須浜(過去10年)
歌津(平成28年12月から観測再開)
桂島(平成24年3月から観測開始)
巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

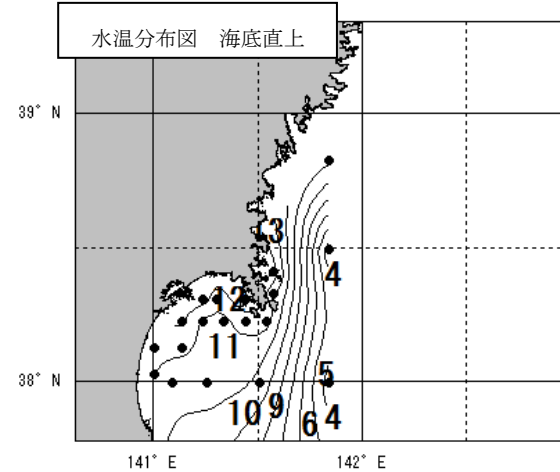
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2018年7月9日~7月12日)



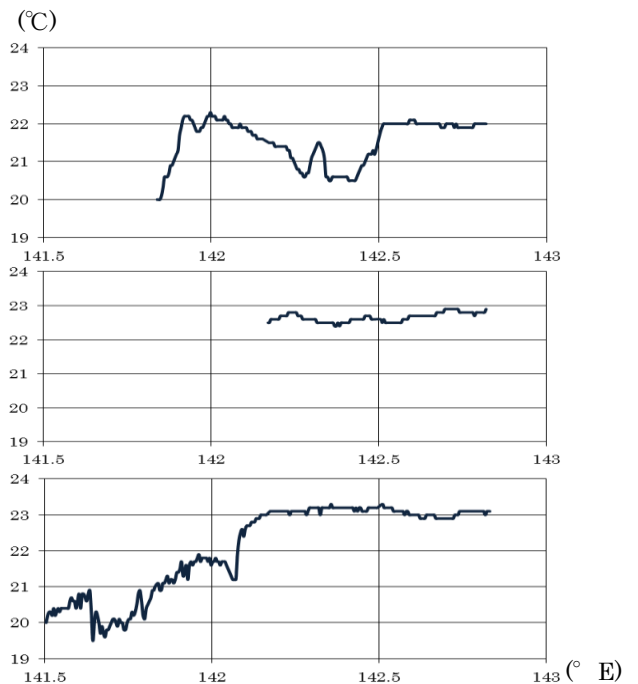
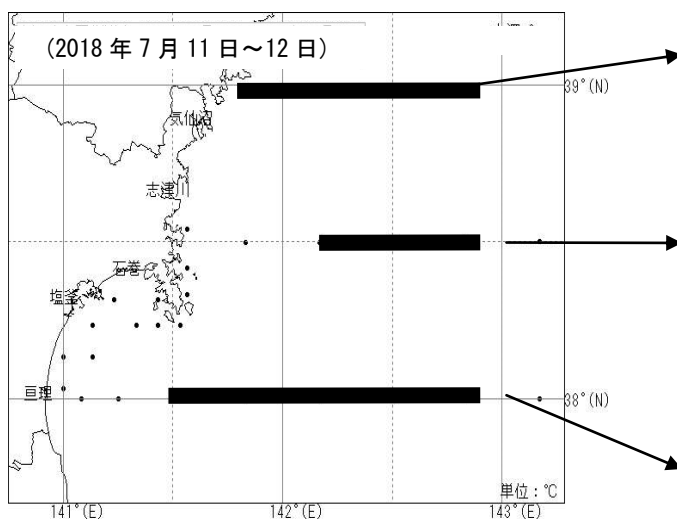
・海底直上水温(2017年6月26日~7月7日)



(※観測水深は500mまでです)

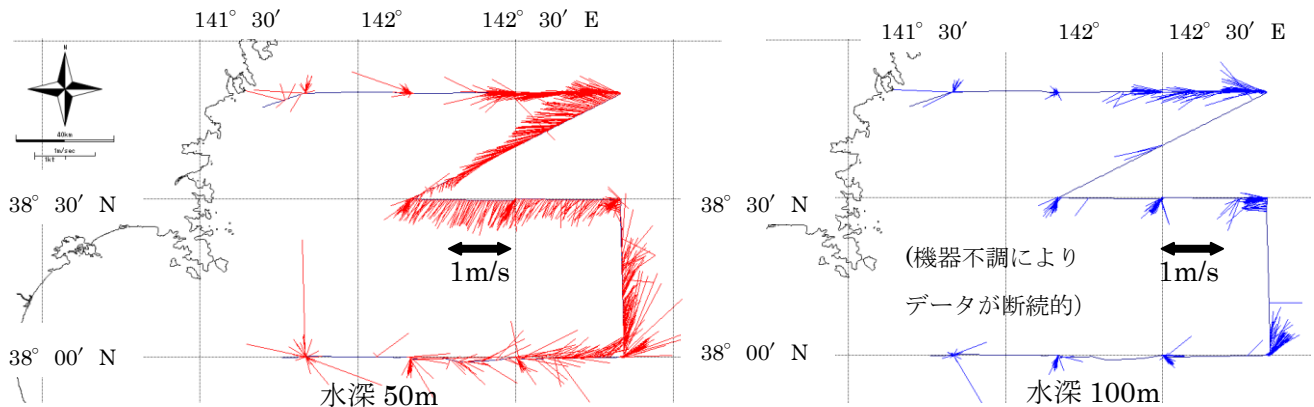
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。38° 30' N ラインで特に南向きの流れが卓越しています。



※潮汐成分は除去されておられません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

前年と比較して、ビンナガ、カツオ、メバチなどが大きく水揚げを伸ばしています。マガレイ、イトヒキダラ、スルメイカ、ヒラメ、キハダ、マコガレイ、マダラ、サバなどの水揚げは前年より減っています。

2018年6月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ			304		4074		0		43	1	198	4619	517%
メバチ			24		238				11		38	310	293%
クロマグロ			266			0				2	2	271	63%
キハダ			4		10				17	0	1	32	18%
カツオ			234		592						94	921	529%
サバ類	896	11	3		796	0					29	1735	40%
ブリ	0	0			125	0				0	3	128	39%
キチジ	9										0	9	114%
カナガシラ	1	9	0			3	0				0	13	20%
ヒラメ	3	17	0			3	3				13	40	13%
マコガレイ	1	9	0			0	2				3	16	27%
サメガレイ	9						0				0	9	59%
ババガレイ	4	0	0			0	0				1	5	55%
マガレイ			0			0	0				0	1	8%
スルメイカ	18	1	1			23					0	43	11%
ミスダコ	12	5				0	0				23	41	34%
マイワシ	0	0	2102			2355					30	4488	73%
カタクチイワシ						0						0	0%
マダラ	42	0	0			0	0				31	73	26%
スケトウダラ	32	3	0				0				1	36	52%
イトヒキダラ	22											22	10%
ガザミ		0				0	1				8	10	23%

5. 調査船運航計画

(単位：トン)

みやしお	
7月17~19日	沖合定線調査
7月23日	放射能サンプル調査
7月30~31日	沿岸定線調査
開洋	
7月17日 7月24日	種ガキ調査
7月18~19日	アカガイ調査
7月30日	浅海定線調査